

# 時 報

## ◎酪農大学校開校

昨年12月1日、県立酪農大学校は健全な酪農民養成のよ望をになつて開校され、30名の第一期生が入学、12月10日から所定の教育課程に従がつて、津山市の県酪農試験場で広範囲の酪農経営に必要な学科・実習に取り組んでいる。

晴れの第一期入学生はつぎのとおりで、来年3月までの今年度の教育を終了すると、さらに来年、再来年度に4ヵ月ずつ合わせて12ヵ月の教育を受けることになっている。

昭和36年度酪農大学校入学者  
(第一期生)

| 氏 名       | 年 令 | 住 所       |
|-----------|-----|-----------|
| 原 田 靖 雄   | 20  | 小田郡美星町    |
| 金子 輝 男    | 24  | 山口県萩市     |
| 金 田 司     | 26  | 鳥取県日野郡日南町 |
| 宗 枝 裕 夫   | 19  | 津山市       |
| 福 田 治 夫   | 20  | 〃         |
| 宮 永 好 幸   | 22  | 真庭郡川上村    |
| 菊 地 俊 六   | 21  | 〃         |
| 佐 藤 昭 雄   | 21  | 阿哲郡大佐町    |
| 三 宅 悟     | 18  | 島根県邑智郡石見町 |
| 嵯 峨 瑛     | 22  | 久米郡久米南町   |
| 松 島 樹 男   | 23  | 〃 旭町      |
| 板 谷 泰     | 18  | 小田郡矢掛町    |
| 三 宅 光 雄   | 18  | 〃 美星町     |
| 柴 田 卓 志   | 23  | 阿哲郡神郷町    |
| 田 中 耕 三 郎 | 24  | 邑久郡邑久町    |
| 岡 田 正     | 23  | 英田郡美作町    |
| 酒 井 康 佐   | 21  | 上房郡賀陽町    |
| 前 野 興 一   | 22  | 高梁市       |
| 立 川 勲     | 20  | 〃         |
| 岩 戸 善 美   | 24  | 阿哲郡神郷町    |
| 坪 井 秀 夫   | 22  | 総社市       |
| 野 川 英 夫   | 18  | 真庭郡八束村    |
| 原 道 生     | 18  | 大分県太野郡野津町 |
| 芳 形 和 彦   | 17  | 赤磐郡熊山町    |
| 杉 本 健 治   | 20  | 和気郡和気町    |
| 追 田 紀 之   | 19  | 上房郡北房町    |
| 長 瀬 純 利   | 21  | 津山市       |
| 杉 田 俊 道   | 21  | 川上郡成羽町    |
| 仁 後 皓     | 37  | 〃         |
| 谷 幹 男     | 19  | 赤磐郡吉井町    |

なお、大学校の教育方法・内容その他の概要は大学校条例・校則によりつぎのとおりとなっている。

**目 的** 酪農に関する知識及び技能を修得させ健全な酪農経営者を養成する。

**学生定員** 1学年 30名

**修業期間** 3箇年とする。

なお修業期間は

**第一期** 入学した年の4月1日から7月31日まで。

**第二期** 2年目の8月1日から11月30日まで。

**第三期** 3年目の12月1日から次の年の3月31日まで。

### 入学者資格者

- 1、高等学校を卒業した者
- 2、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると校長が認めるもの。

### 教職員組織

校長・教授・助教授・講師・事務職員その他はつぎのとおりである。

### 教育課程

学 科 目 次表のとおり

単 位 15時間を1単位とする。

なお所定の単位を修得した者には卒業証書が授与され、岡山県酪農経営士と称することができる。

授業料 月額 500円、卒業までに6,000円

酪農大学校職員一覧

| 学 科 目         | 担 当 者     | 所 属           |
|---------------|-----------|---------------|
| 畜 政 論         | 惣 津 律 士   | 県 畜 産 課 長     |
| 酪 農 經 營 学     | 藏 知 伊 三 郎 | 岡 山 大 学       |
| 畜 産 学 概 論     | 小 松 伊 三 郎 | 〃             |
| 土 壤 学         | 米 田 茂 男   | 〃 技           |
| 肥 料 学         | 西 岡 均 平   | 岡 山 大 学       |
| 飼 料 作 物 学     | 須 藤 秋 浩   | 酪 農 大 学       |
| 〃             | 三 須 尚     | 〃 畜 産         |
| 草 地 学         | 中 島 大 二   | 〃 技           |
| 〃             | 栗 山 光 泰   | 〃             |
| 農 業 機 械 学     | 松 村 泰 雄   | 〃             |
| 植 物 榮 養 生 理 学 | 下 瀬 丹 升   | 岡 山 大 学       |
| 飼 料 学         | 須 藤 浩     | 〃             |
| 家 畜 繁 殖 学     | 小 松 伊 三 郎 | 〃             |
| 〃             | 和 田 宏     | 〃             |
| 家 畜 生 理 学     | 上 原 茂 喜   | 県 酪 試         |
| 家 畜 飼 養 学     | 竹 原 宏 宏   | 県 畜 産 課       |
| 家 畜 改 良 育 種 学 | 岡 秀 行     | 〃             |
| 農 業 簿 記 学     | 佐 野 正 民   | 岡 山 県 総 合 畜 産 |
| 人 工 授 精       | 豊 田 繁 正   | 県 酪 試         |
| 乳 質 檢 査       | 竹 内 秀 雄   | 県 畜 産 課       |



# 岡山畜産便り 1962.01

## 受賞鶏検定成績表

個体の部

(以上のみ)

| 順位 | 種類         | 検定番号  | 個数  | 重量                    | 1個平均重量            | 出品者氏名 |
|----|------------|-------|-----|-----------------------|-------------------|-------|
| 1  | 単冠白色レグホーン種 | 60-91 | 350 | 21,126.0 <sup>g</sup> | 60.4 <sup>g</sup> | 三宅節太  |
| 2  | 〃          | 40    | 〃   | 19,979.0              | 57.1              | 土肥恭介  |
| 3  | 〃          | 115   | 〃   | 18,847.5              | 53.9              | 水野大二  |
| 4  | 〃          | 126   | 〃   | 18,534.0              | 53.0              | 寺島篤政  |
| 5  | 〃          | 268   | 〃   | 18,495.5              | 52.8              | 久光和夫  |
| 6  | 〃          | 199   | 〃   | 18,298.5              | 52.3              | 石田豪士  |
| 7  | 〃          | 119   | 341 | 18,990.5              | 55.7              | 水野大二  |
| 8  | 〃          | 254   | 339 | 18,969.0              | 56.0              | 高田弘   |
| 9  | 〃          | 59    | 338 | 19,880.0              | 58.8              | 河田郁雄  |
| 10 | 〃          | 117   | 337 | 20,560.5              | 61.0              | 水野大二  |

群の部

| 順位 | 種類         | 検定番号     | 1羽当平均   |      | 1羽当平均卵重 <sup>g</sup>   | 1個平均卵重 <sup>g</sup> | 出品者氏名 |
|----|------------|----------|---------|------|------------------------|---------------------|-------|
|    |            |          | 合格卵数百分率 | 重量   |                        |                     |       |
| 1  | 単冠白色レグホーン種 | 60-51-60 | 311.5   | 89.0 | 16,891.25 <sup>g</sup> | 54.2 <sup>g</sup>   | 河田郁雄  |
| 2  | 〃          | 271-280  | 308.1   | 88.0 | 16,721.30              | 54.3                | 石田健   |
| 3  | 〃          | 1-10     | 298.9   | 85.4 | 17,134.35              | 57.3                | 三好茂   |
| 4  | 〃          | 141-150  | 298.5   | 85.3 | 17,125.50              | 57.4                | 内田和夫  |
| 5  | 〃          | △111-120 | 324.8   | 92.8 | 19,201.50              | 59.1                | 水野大二  |
| 6  | 〃          | 311-320  | 297.6   | 85.0 | 16,880.45              | 56.7                | 佐藤正   |
| 7  | 〃          | △261-270 | 296.4   | 84.7 | 16,201.40              | 54.7                | 久光和夫  |
| 8  | 〃          | 121-130  | 294.8   | 84.2 | 16,723.85              | 56.7                | 寺島篤政  |
| 9  | 〃          | 231-240  | 294.5   | 84.1 | 15,500.95              | 52.6                | 初岡太郎  |
| 10 | 〃          | 41-50    | 292.1   | 83.5 | 16,398.70              | 56.1                | 赤木文吉  |

## 昭和37年度 畜産講習生募集案内

### 畜産関係試験場 中国酪農講習所

岡山県養鶏、和牛試験場および岡山県中国酪農講習所では昭和37年度の講習生を、いまつぎの要領で募集しています。

農村でいまほど優れた畜産実施指導者、経営者を必要としていることはかつてありません。

農村に残り、畜産を伸ばそうという新進気鋭の青年の応募をおすすめします。

### 岡山県立酪農講習所第10回生募集

#### 講習所の目的

酪農に関する講習を行ない酪農経営の中堅として地方酪農家の指導者となり得る人材の養成をする。

#### 募集要綱

1、募集人員 25名以内

#### 2、応募資格

次の各号の一に該当する者であって身体強健、志操堅実で酪農経営に熱意を持つもの。

- (1) 高等学校卒業者(昭和37年3月卒業見込の者を含む。)旧制の農業に関する中等学校卒業者又はこれと同等以上の学力があると認められる者
- (2) 其の他所長が特に適当と認めた者

### 3、受検手続

(1) 願書受付期間 昭和37年3月15日

(2) 提出書類

志願者は、入所願(別記様式)に履歴書、戸籍抄本、身体検査書(保健所で検査を受けたもの)及び最終学校の成績証明書を各一通と名刺型写真(脱帽上半身3箇月以内に撮影のもので裏面に氏名、年令、撮影年月日を記入したもの)二枚を添えて所長に提出する。

(3) 送付先

津山市大田904

岡山県立中国酪農講習所

### 4、受検通知

願書を提出した者には、選考日までに受検の通知をする。この通知状を当日必ず持参すること。

### 5、入所選考

(1) 期日 昭和37年3月23日 午前9時

(2) 場所 津山市大田904(電話津山2426)岡山県立中国酪農講習所講堂

(3) 方法 学力検査及び人物検査とする。

イ、学力検査 国語、数学及び一般常識についての筆記試験並びに作文

ロ、人物検査 口頭試験

### 6、合格発表

昭和37年3月24日に本人あてに通知状を発送す

## 岡山畜産便り 1962.01

る。

### 7、入所期日及び入所期間

- (1) 入所期日 昭和 37 年 4 月 3 日
- (2) 入所期間 昭和 37 年 4 月から昭和 38 年 3 月までの 1 箇年間とする。

### 8、寄宿舍

講習生は、全員寄宿舍に収容する。

### 9、必要経費

- (1) 参考書、講習教材等の実費として年約 5,000 円を要する。
- (2) 研修旅行費として月額約 700 円を要する。(毎月積立し年 2 回県外研修を行なう。)
- (3) 食費実費として月額約 1,500 円(主食を含まない。)を要する。

### 10、この講習所の特色

- (1) 講習生は、在所中に家畜人工授精講習の受講資格を与えられ、その試験に合併した者には、家畜人工授精師の免許が与えられる。
- (2) この講習所の周辺は、集約酪農地域の指定を受けてホルスタイン種のみならず多数のジャージー種を飼育しているのでこれに関する知識も体得できる。
- (3) この講習所は、乳牛のほかに一部中小家畜を飼育しているので、一般畜産に関する知識及び技術も体得できる。
- (4) 津山市の酪農工場において牛乳処理及び乳製品製造の実習を受けることができる。
- (5) 在所中酪農試験場の全施設及び家畜を利用して実習するので、各種の調査、試験及びその経営実務を習得できる。
- (6) 専任職員のほか、相当多数の所外講師を依頼しているので農村中堅青年として修得すべき学科をすべて受講できる。

### 11、この講習所に関する規程は次のとおりですから参照してください。

- (1) 岡山県立中国酪農講習所条例(昭和 28 年岡山県条例第 80 号)
- (2) 岡山県立中国酪農講習所規則(昭和 28 年岡山県規則第 69 号)

### 12、その他詳細については、直接御照会ください。

## 岡山県和牛試験場

### 岡山県畜産(和牛)技術講習生募集要綱

岡山県畜産技術講習規程(岡山県告示第 137 号)の定めるところにより昭和 37 年度岡山県畜産技術講習生を次のとおり募集する。

- 1 募集人員 10 名
- 2 応募資格

次のいずれかに該当するものであって、身体強健、思想堅固で、有畜営農に熱意をもつもの。

- 1 高等学校卒業生(昭和 37 年 3 月卒業見込の者を含む)または、これと同等以上の学力があると認められるもの。
- 2 その他、場長が適当と認めたもの

### 3 手続

応募者は願書提出期日までに、次の書類を一括して、岡山県和牛試験場長あて提出すること。

- 1 入所願(別紙様式) 一通
- 2 履歴書(市販の用紙) 一通
- 3 戸籍抄本 一通
- 4 最終学校の成績証明書 一通
- 5 医師の健康診断書 一通

### 4 願書受付期間

昭和 37 年 2 月 10 日から、昭和 37 年 3 月 20 日まで

### 5 受験通知

願書を提出したものには選考日までに受験票を郵送する。

### 6 選考月日および場所と選考方法

- 1 選考月日 昭和 37 年 3 月 26 日
- 2 選考場所 岡山県和牛試験場
- 3 選考方法 一般常識に関する筆記および面接

### 7 合格通知

昭和 37 年 3 月 27 日に本人あて通知する。

### 8 入所期日

原則として昭和 37 年 4 月 6 日とする。

[付 2]

畜産(和牛)技術講習の内容

- 1 講習期間は一カ年で、終了者には修得証を授与する。
- 2 講習生は全員、寄宿舍に入舎するものとする。
- 3 毎月、予算のゆるす範囲内で、手当(約 1,000

## 岡山畜産便り 1962.01

円の見込)を支給する。

4 講習生には家畜人工授精講習会の受講資格が与えられる。

5 学科については、原則として毎週月、火、金曜日に各2時間の講義を行なう。

6 その他の時間は現場実習により、各種技術の修得を行なう。

### 7 講義内容

- 1 和牛の改良と繁殖
- 2 和牛の肥育
- 3 調教と削蹄
- 4 農業経営と和牛飼育

5 草生改良と自給飼料の栽培

6 家畜人工授精の理論と実習

[付2]

### ◎必要経費

- 1 参考書、講習教材等の実費として年間約 2,000 円を要する。
- 2 研修旅行費として月 400 円を要する。
- 3 食費実費として月約 1,400 円(主食代は含まない)を要する。
- 4 寝具、衣類等は各自持参のこと。  
(養鶏試験場講習生募集要綱は次号掲載の予定)

## 第12回県肉牛共進会終る

特に優れたものはないが若令牛の出品ふえる

36年度の岡山県肉牛共進会はさる12月20、21の両日、岡山県と岡山市の主催で岡山市巖井の岡山家畜市場で開かれた。これには各郡市から選ばれた肉

牛雌(4~6才)14頭、去勢(2~5才)38頭計52頭が出品され雄を競った。

第一日は午前午後にわたり審査があり入賞順位を決定し、第二日は9時半から上位入賞牛の展示と林和牛試験場長による解説、11時からは褒賞授与式に移り、入賞者にそれぞれ畜産局長賞状、県知事賞状ほか副賞が贈られ、また同時に肉畜関係功労者三氏名の表彰が行なわれた。午後は例年どおり市場内で出品牛のセリが行なわれたが、肉価格の好況から高値をよび、最高はメス一等入賞の14号牛が293,200円であった。



褒 賞 授 与 式

### 畜産功労者表彰

岡山県知事表彰状

岡山市巖井

水 内 潔

岡山県知事感謝状

邑久郡牛窓町

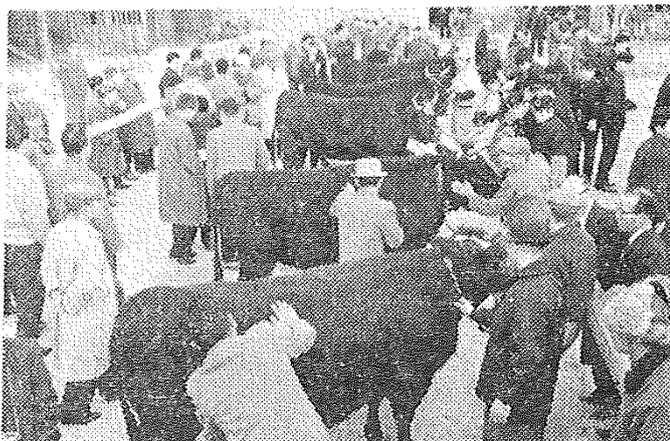
牛窓町農業協同組合

倉敷市三田

守 屋 鹿 蔵

倉敷市三田

守 屋 竜 衛



審 査 さ れ る 肥 育 メ ス 牛

岡山畜産便り 1962.01

|    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |      |     |     |     |     |    |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|----|
| 計  | 久米郡 | 英田郡 | 勝田郡 | 吉備郡 | 浅口郡 | 都窪郡 | 児島郡 | 赤磐郡 | 御津郡 | 高梁市 | 総社市 | 井原市 | 西大寺市 | 笠岡市 | 津山市 | 倉敷市 | 岡山市 | 地区 |
| 一四 |     |     |     |     | 三   | 一   | 二   | 三   |     | 一   |     |     |      | 一   |     | 三   |     | メス |
| 三八 | 二   | 一   | 二   | 二   | 六   |     | 四   | 六   | 二   |     | 一   | 一   | 二    |     | 三   | 二   | 四   | オス |
| 五二 | 二   | 一   | 二   | 二   | 六   | 三   | 五   | 二   | 九   | 二   | 一   | 一   | 二    | 一   | 三   | 五   | 四   | 計  |

地区別出品頭数

| 出品番号 | 名号  | 性  | 年令 | 出品人 |        | 体重  |
|------|-----|----|----|-----|--------|-----|
|      |     |    |    | 住所  | 氏名     |     |
| 1    | ことう | 雌  | 5才 | 倉敷市 | 亀山幸太郎  | 179 |
| 4    | たと  | 〃  | 6〃 | 市郡  | 藤田豊太郎  | 165 |
| 11   | たか  | 〃  | 5〃 | 市郡  | 高小川金二  | 155 |
| 14   | おが  | 〃  | 5〃 | 市郡  | 浅口義孝   | 178 |
| 10   | しんか | 雌  | 5〃 | 市郡  | 高梁敷春一  | 165 |
| 47   | なかな | 去勢 | 5〃 | 市郡  | 三渡波田章夫 | 156 |
| 42   | 坂昌  | 〃  | 3  | 市郡  | 坂藤田七五三 | 157 |
| 52   | 喜長  | 〃  | 4  | 市郡  | 藤岡昌一   | 153 |
| 41   | 喜長  | 〃  | 4  | 市郡  | 洪江喜一郎  | 155 |
| 40   | 長羽  | 〃  | 4  | 市郡  | 長羽喜川和郎 | 157 |
| 28   | 長羽  | 〃  | 3  | 赤磐郡 | 羽原二    | 155 |

入賞状況  
(二等賞)(二等以下略)

| 種類           | 一升重量 |       | 一疋重量 |     |
|--------------|------|-------|------|-----|
|              | 匁    | 瓦     | 合    | 立   |
| 大裸小麦         | 280  | 1,050 | 9.5  | 1.7 |
| 小燕           | 320  | 1,020 | 8.3  | 1.5 |
| 小麦 (内地産)     | 356  | 1,335 | 9.5  | 1.4 |
| 小麦 (外国産)     | 364  | 1,365 | 7.4  | 1.3 |
| 産麦           | 211  | 791   | 12.6 | 2.3 |
| イ粟稗蜀黍        | 340  | 1,275 | 7.8  | 1.4 |
| 玉高           | 300  | 1,125 | 8.9  | 1.6 |
| 黍            | 200  | 750   | 13.3 | 2.4 |
| 大            | 350  | 1,313 | 7.0  | 1.4 |
| 豆            | 340  | 1,275 | 7.8  | 1.9 |
| 糶            | 302  | 1,133 | 8.8  | 1.6 |
| 在割           | 360  | 1,350 | 7.4  | 1.3 |
| 麦            | 200  | 750   | 13.3 | 2.4 |
| 小            | 200  | 750   | 13.3 | 2.4 |
| 挽            | 220  | 825   | 12.1 | 2.2 |
| 割            | 285  | 1,069 | 9.4  | 1.7 |
| 米            | 390  | 1,462 | 9.4  | 1.7 |
| 米            | 280  | 1,050 | 13.5 | 2.4 |
| 米末           | 305  | 1,185 | 12.4 | 2.2 |
| 蜀黍           | 100  | 400   | 34.1 | 6.1 |
| 蜀黍           | 350  | 1,320 | 10.5 | 1.9 |
| 蜀黍           | 280  | 1,050 | 9.5  | 1.7 |
| 蜀黍           | 265  | 994   | 10.1 | 1.8 |
| 蜀黍           | 200  | 750   | 13.3 | 2.4 |
| 糠            | 150  | 563   | 17.8 | 3.2 |
| 糠 (一番)       | 60   | 225   | 44.4 | 8.0 |
| 糠 (二番)       | 140  | 525   | 19.0 | 3.4 |
| 米粉           | 162  | 606   | 16.5 | 3.0 |
| 皮粕           | 162  | 606   | 16.5 | 3.0 |
| 豆            | 225  | 844   | 11.8 | 2.1 |
| ビートパルプ (外国産) | 113  | 422   | 23.7 | 4.3 |
| 魚粉           | 273  | 1,024 | 9.8  | 1.8 |
| 牛乳           | 500  | 1,860 | 5.3  | 1.0 |
| 水            | 481  | 1,804 | 5.5  | 1.0 |
| 塩            | 400  | 1,500 | 6.6  | 1.2 |
| イカ           | 269  | 1,011 | 9.9  | 1.8 |
| 糠            | 160  | 600   | 24.8 | 4.5 |
| 糠            | 200  | 750   | 18.8 | 3.4 |
| 油            | 320  | 1,200 | 11.6 | 2.1 |
| 油            | 180  | 675   | 20.6 | 3.7 |
| 油            | 110  | 400   | 34.1 | 6.1 |